

呼びかけ。

楽譜クリップ

竹楽器の製作に当日

運営準備から終わりまで

市民オケの皆さん

みんなでつくる大合奏「よ**ろ**こび ありがとうございました

年9月21日(日)近江八幡市文化会大ホー 1000名の参加者、44種類 の楽器が集まりました! "みんなでつくる1000人の大合奏 が実現しました!

2022年の暮れに計画を発表し、 2023年に

大きく取り上げてくれたり、機運がグッと高まってきたように感じました。 当日。いざ、大合奏へと進もうとした折りに、 受付を指揮していた

"1000名の大合奏"が実現したのです。何というドラマでしょうか。

"100人のオブラディオブラダ "300人の線路は続くよどこまでも"を行い、準備を整えてきました。 やはり1000人は高くて厚い壁でした。それでも、市民オケをはじめと る皆さんの応援で、開催前日には参加申込者が921名になっておりました。 たくさんの方が最後の一押しと声がけしてくれたり、朝日新聞が前日の朝刊で 団長の中尾さんから「当日参加者が80名を超えた!」との報告を受けました。



送されの





誠にありがとうございました。 1000人の響きはいかだったでしょうか?私の一番心配してい たことは、特定の音の大きい楽器が全体の色を決めてしまい、各楽器 の良さが全て吹き飛んでしまうことでした。が、その心配は、最初の フレールジャックの音出しで吹き飛んでしましました。調和がとれて いるのです。弾く楽器、吹く楽器、叩く楽器それぞれがその特長を 活かして演奏していました。私はいつの間にか大規模な市民オケを やっているような気分になり、いつもの調子で太鼓に注文をつけたり 表現について解説したり……。「ああ、これは大合奏でなく、 -ケストラ何だ」と納得した次第です。

月にスタートした当団は日本の童 も楽しくないという反応が見て ちらが楽しく演奏しなけれ 団に入団しました。二〇一六年 オケの兄弟分である、 〇二二年四月、現役生活に終止 け巡っております を皆で確認するという練習もし コミュニケーションも不足 さっている方の距離が近い 演奏前と演奏後の笑顔」 置されたコミセンで、 いるときは、 模施設が多く、 を受けております。 達する大事なコツと話され その反省に立って、 一月は桐原学区文化 平日の余暇活動として、 域団体からの演奏依頼を皮 人々を感動させることを 今後の目標は、 い演奏を目指して 表情も硬く、 楽譜と睨めっこし 翌年には発表 演奏者と聞 ふなっこ を常に実 祭の出 堀先生 一中の 一面鏡が しが 四

滋賀市民ギターオ

10/11

[2025年主な行事]

10月19日(日)

11月16日(日)

12月 7日(日) クリスマスコンサ

10月の予定

11月の予定

これが三回目の投稿となりました。

ろいろな思い出が走馬灯のように

\	- 10		_			_	_					_		
ルフー	月	火	水	木	金	±	日	月	火	水	木	金	4	田
5		1 138	1	2	3	4	5	22/		Ü				2
P	6	7	8	9	10	-113	12	3	4	5	6	7	8	9
_ :	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
(/- []:	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
支	27	28	29	30	31	7	L	24	25	26	27	28	29	30
、 []; 支	20 27	21 28	22		24 31	25 2	26	17 24	-	~		21 28		H

関掛けの日はお休みです。黄色は時間を注意。

市民オケに入団して早十年を迎え オーケストラ